



公開シンポジウム

大学で学ぶ社会学とは

—社会学分野の参照基準を考える—

日時：2014年6月8日（日）13:00～17:00

会場：立教大学池袋キャンパス

太刀川記念館3階多目的ホール

（JR・地下鉄線「池袋駅」下車 西口より徒歩約7分）

—当日受付・事前登録不要・入場無料—

プログラム

総合司会・開会挨拶 落合恵美子（日本学術会議第一部会員、京都大学教授）

第Ⅰ部 基調報告・基調講演（13:10～14:10）

基調報告「大学教育の分野別質保証と参照基準」

北原和夫（日本学術会議特任連携会員、大学教育の分野別質保証委員会企画連絡分科会委員長、東京理科大学大学院教授）

基調講演「多様化する社会学教育：社会学を教えるとはどういうことか？」

井腰圭介（日本学術会議特任連携会員、帝京科学大学教授）

工藤保則（龍谷大学教授）

第Ⅱ部 パネルディスカッション「社会学と社会の接点」（14:20～17:00）

司会 江原由美子（分科会副委員長、日本学術会議第一部会員、首都大学東京教授）

パネリスト

笹谷春美（分科会委員長、日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授）

鳥越皓之（日本社会学会会長、早稲田大学教授）

吉原直樹（社会学系コンソーシアム理事長、日本学術会議連携会員、大妻女子大学教授）

周藤由美子（ウィメンズカウンセリング京都）

林 千冬（神戸市看護大学教授）

総括討論 友枝敏雄（日本学術会議第一部会員、大阪大学教授）

奥村 隆（日本学術会議特任連携会員、立教大学教授）

閉会挨拶 遠藤 薫（日本学術会議連携会員、学習院大学教授）

主催 日本学術会議 社会学委員会 社会学分野の参照基準検討分科会

共催 日本社会学会 協力 立教大学社会学部



開催趣旨：日本学術会議社会学委員会は「社会学分野の参照基準検討分科会」において審議を重ね、このたび「大学教育の質保証のための教育課程編成上の参照基準・社会学分野」の素案をまとめました。このシンポジウムは、学会内外の多様な意見を聴取し、議論を深めて「社会学分野の参照基準」に生かしていくことを目的として開催するものです。

全国の悩める社会学担当者の皆さまのみならず、大学で社会学を学ぶことにどのような意味があるのか、と疑問に思われている他分野・他領域の皆さまも、お誘い合わせの上ぜひご参加下さい。

プログラム

総合司会・開会挨拶：落合恵美子*（日本学術会議第一部会員、京都大学教授）

第Ⅰ部 基調報告・基調講演(13:10～14:10)

基調報告「大学教育の分野別質保証と参照基準」

北原和夫（日本学術会議特任連携会員、大学教育の分野別質保証委員会企画連絡分科会委員長、東京理科大学大学院教授）

基調講演「多様化する社会学教育：社会学を教えるとはどういうことか？」

井腰圭介*（日本学術会議特任連携会員、帝京科学大学教授）、工藤保則（龍谷大学教授）

第Ⅱ部 パネルディスカッション「社会学と社会の接点」(14:20～17:00)

司会 江原由美子*（分科会副委員長、日本学術会議第一部会員、首都大学東京教授）

- (1)分科会報告「社会学分野の参照基準案について」笹谷春美*（分科会委員長、日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授）
- (2)「社会学からのコメント」鳥越皓之（日本社会学会会長、早稲田大学教授）
- (3)「社会学系コンソーシアムからのコメント」吉原直樹（社会学系コンソーシアム理事長、日本学術会議連携会員、大妻女子大学教授）
- (4)「カウンセリングの現場から：ジェンダーという視点」周藤由美子（ウイメンズカウンセリング京都）
- (5)「臨床現場に立つ上で：看護職養成における社会学教育」林 千冬（神戸市看護大学教授）

総括討論 友枝敏雄*（日本学術会議第一部会員、大阪大学教授）、奥村 隆*（日本学術会議特任連携会員、立教大学教授）

閉会挨拶 遠藤 薫*（日本学術会議連携会員、学習院大学教授）

< * = 日本学術会議社会学委員会委員、社会学分野の参照基準検討分科会委員 >

会場案内（立教大学池袋キャンパス）

